

【議事要旨】令和8年度 第1回高梁市行政改革推進委員会

議事概要

日時	令和8年7月2日(木)14:30～16:00		
場所	高梁市文化交流館 講座室2・3		
時間	次第		
14:30	開会		
14:31	委員長あいさつ		
14:36	議事1 行財政改革プランの進捗状況説明		
	内容	・公共施設使用料の見直しについて ・窓口業務に関する取組について	
16:03	閉会		

事務局	高梁市 企画財政部	部長	山川 映之
	高梁市 企画財政部 財政課	課長	奥田 敏行
	高梁市 企画財政部 財政課	課長補佐	作 信博
	高梁市 企画財政部 財政課	主任	片山 曜啓

出席者

役職	団体名等		氏名	出席
委員長	学校法人 順正学園 吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科	准教授	大西 正泰	○
副委員長	高梁市図書館	館長	上森 智子	○
委員	高梁商工会議所	副会頭	徳田 勝俊	○
委員	備北商工会	筆頭理事	山縣 始	○
委員	社会福祉法人 高梁市社会福祉協議会	事務局長	戸田 隆弘	
委員	高梁市青年経済協議会	会長	長尾 章司	○
委員	高梁市婦人協議会	書記	笹田 芙巳子	○
委員	高梁母親クラブ	会長	横田 珠巳	
委員	高梁市まちづくり協議会	会長	丸山 英明	○
委員	学校連携コーディネーター		横山 弘毅	
委員	備北信用金庫	常務理事	金地 正晴	○
委員			森 美代子	○
委員			横見 明憲	○

開会	
・ 委員長あいさつ ・ 新任委員紹介 ・ 事務局紹介	
議事1 高梁市行財政改革について	
決定事項	なし
指示事項	なし
内容	【説明】 ● 事務局から、行政改革推進委員会は、行財政改革プランの取組状況を確認し、市民目線・団体目線・事業者目線から助言を行う場であり、意思決定の場ではないと説明。 ● 委員には、必要性、影響、公平性、代替策、説明、優先順位の観点から、忌憚のない意見をいただきたい。 ● 事務局から、令和6年度から令和7年度までの取組状況を取りまとめた資料について案内。 ● 市税等の収納率向上、未利用財産の有効活用、備品の共同活用、学校給食センターの統合・委託等は一定程度進んでいる。 ● ふるさと納税の推進や公共施設マネジメントについては、十分な成果が出ていない部分があり、今後の課題である。 【主な意見】 ● (徳田委員)市税等収納率向上やふるさと納税の推進について、成果と課題を確認したい。 ➢ (事務局)市税等は滞納処分や差押え等を積極的に行うようになり成果につながっている。ふるさと納税は2億円台で推移しているが、さらに伸ばすための起爆剤となる返礼品が不足している。 ● (大西委員長)ふるさと納税の返礼品で人気のものについて質問したい。 ➢ (事務局)コーヒーが多く、果物や米もあるが、全国的に強い海産物や肉類等と比べ、通年で選ばれやすい特産品が少ないことが課題である。 ● (森委員)農業体験や市内名所を巡る旅行型・体験型返礼品を作ることはできないか。 ➢ (事務局)体験型返礼品は物品型より選ばれにくい傾向があるが、選んでもらえる環境を作ることは重要である。

【主な意見】

- (横見委員) イベントで配布する使い捨ての鉛筆などは持参してもらうといった、細かな備品管理にも見直しの余地があるのではないか。
- (上森委員) 市役所でも机や備品の持ち方を見直す余地があるのではないか。
- (丸山委員) ごみ袋有料化について、検討状況を確認したい。
- (事務局) 有料化の検討は続いているが、現時点では収集経費や処理経費の見直しを優先している。
- (丸山委員) ごみ袋の購入を通じて高梁市に寄与できるのであれば構わないという声も聞くため、意向調査をされてみては。

公共施設使用料の見直しについて

【説明】

- 電気代、燃料費、修繕費など施設維持に必要な費用が上昇しており、公共施設使用料の見直しを検討している。
- 施設を維持するための費用のうち、使用料で賄えない部分は、市の財源、すなわち市民全体の負担で支えられているため、利用者負担と市民全体負担のバランスを考える必要がある。
- 当日、非公開資料として、見直し対象施設の一覧、収入額、ランニングコスト、収支状況の概算を整理した資料を配布。
- 費用上昇の中で使用料を見直す場合の配慮事項、利用者増や経費削減を先行する考え方、市内・市外利用者と料金差を設ける考え方、施設ごとに値上げ・据置きを分けることへの公平感について意見を求めた。

【主な意見】

- (大西委員長) 使用料収支一覧を確認し、稼働率が低い施設や、稼働率が高くても赤字額が大きい施設について意見をいただきたい。指定管理施設については、利用料収入が市に直接入るのではなく、指定管理者の収入となるため、今回の一覧には反映されていないとのこと。
- (徳田委員) 各施設について、赤字が多く示されているが、どの程度まで改善したいのか、目標があるのか。
- (事務局) 値上げ対象施設により効果額が大きく変わるため、明確な目標は示しにくい。入場者の多い施設では少額の値上げでも大きな効果が見込める一方、影響も大きい。

内容

【主な意見】

- (大西委員長)スポーツ施設について、稼働率が低いにもかかわらず管理経費が大きい施設があるのではないかと。料金改定だけでなく、繁忙期だけ人を増やしたり、雇用シェアリングの導入など管理体制の見直し等の経費削減策も検討できるのではないかと。
- (森委員)稼働率が非常に低い施設について、どのような施設なのか確認し、閉鎖や統合を検討しないのか。
- (事務局)施設によっては統廃合を検討しているものもあるが、同種の施設が各地域にあり、集約の必要性は認識している。
- (山縣委員)財政状況は厳しく、使用料の値上げだけでなく、維持管理費の削減や施設整理も思い切って行う必要があるのではないかと。閉鎖という結論になってもしょうがないのではという個人的な思いもある。厳しい意見があったとしても強く推し進めるべきではないかと。
- (金地委員)料金を見直す場合は、ある程度判断基準を明確にし、市民に十分知らせる必要があるのでは。料金改定だけでなく、施設の利用促進、運営改善、統廃合、減免制度の見直しとセットで考えるべき。
- (金地委員)市外利用者の料金について、姫路城の市民・市外料金の例を参考に、松山城でも一定の見直しは考えられるのではないかと。また、シャトルバス乗り場等で料金を徴収する仕組みにすれば、単価を上げなくても収入増につながる可能性があるのでは。
- (徳田委員)施設の目的、利用者層、市内外利用、営利・非営利利用、個人利用・団体利用、競合施設の有無、値上げによる影響等、判断に必要な要素を整理した上で、施設ごとの見直し方針を検討すべき。
- (大西委員長)市外利用者の比率が高い施設は、料金改定の優先順位を上げることも考えられる一方、市民利用が中心の施設は住民サービスとしての性格が強いため、優先順位を下げることも考えられる。
- (森委員)市内利用者と市外利用者で公共施設の利用料金を分けるのは当然ではないかと。
- (長尾委員)市民から少し反対意見が出ると行政がすぐ怯んでしまい、結局何も変わらない印象がある。財政が厳しいのであれば、行政として覚悟を持って進める必要がある。

内容

【主な意見】

- (森委員)地域で必要とされる施設について、市が管理し続けるのではなく、地域に委託・譲渡することも考えられるのではないかと。
- (事務局)コミュニティ施設については譲渡が望ましいと考えているが、地域側も高齢化や人口減少により、施設を受けることに不安があり、進みにくいと説明した。
- (笹田委員)旧幼稚園や学校施設について、子どもの遊び場として活用したいという声があるが、どこに相談すればよいのか分からない。
- (事務局)用途廃止後の普通財産を貸し付ける場合、安全性や管理責任の問題がある。遊具が残っている施設は利用希望が出やすいが、貸し出す場合はメンテナンス費や安全管理が必要となる。
- (事務局)地域団体に法人格を持たせ、施設の登記や所有を可能とする制度があり、未利用施設の譲渡や地域管理の課題解決に活用できる可能性があるため、今後調査したいと説明した。
- (大西委員長)委員からのご意見いただき、事務局の問いについてはおおむねお答えできたかと思う。赤字の施設はすなわちそれだけ住民サービスを提供しているということではあるものの、過剰にサービスが供給されているものについてはトリアージしていかなければならない。

窓口業務に関する取組について

【説明】

- 事務局から、窓口業務に関する取組として、オンライン申請、コンビニ交付、開庁時間の見直しの3点について説明。
- 市では現在、課税証明や住民票の写しなど、一部手続についてオンライン申請が可能である。
- 今年度中を目途にコンビニ交付を開始予定であり、住民票の写しや課税証明書等がコンビニで取得できるようになる。
- 全国的に自治体の開庁時間短縮の動きがあり、県内でも複数自治体で実施又は試行が進んでいる事例を紹介。高梁市では現時点で具体的な検討が始まっているわけではないが、今後検討が必要になる可能性があるため、委員の意見を伺いたいと説明した。

議事1 高梁市行財政改革について

内容

【主な意見】

- （大西委員長）コンビニ交付は有効である一方、高齢者にとっては病院など日常的に訪れる場所で支援を受けられる方が便利な場合もあるのではないかな。
- （長尾委員・森委員）コンビニ交付やオンライン化を進める場合、詐欺被害防止やセキュリティ対策が必要である。
- （山縣委員）市役所の開庁時間短縮について、朝に手続を済ませて出勤する人もいるため、短縮する場合は朝と夕方の方のどちらの利用が多いかを把握した上で検討すべき。

その他	
内容	【主な意見】 ●（横見委員）施設使用料については、利用者の年齢層や利用目的なども十分に考慮すべき。また、市役所駐車場のEV充電器が無料であることについて、料金徴収を検討すべきではないか。 ●（金地委員）市の業務効率化を進める上で、ペーパーレス化やデータベース化が重要では。マイナンバーカード等を活用し、基本情報を自動で反映することで、書く手間や待ち時間を減らすことができれば、職員負担軽減にもつながるのではないか。 ●（丸山委員）小中学校の統廃合により、今後も学校施設が残っていくことが見込まれる。維持管理や解体に多額の費用を要するため、長期的な扱いが大きなテーマである。窓口時間短縮については、コンビニが近くにない地域やマイナンバーカード手続が本庁でしかできないことなど、利用できない人への対策も検討する必要がある。 ●（長尾委員）数字上の資料だけでは、実際にどの施設が誰に必要とされているのか分かりにくい。市議会議員など、地域の声を聞いている人の意見も踏まえると、より議論しやすくなるのでは。 ●（山縣委員）市役所の方々が行政改革に取り組む際は総論賛成・各論反対になることが多く、今回も同様となる恐れがある。行政として覚悟を持って取り組んでほしい。 ●（徳田委員）本日の議論を踏まえ、次回以降、どのような対応をしたのか報告してほしい。委員の意見が行政内部での後押しになるのであれば、思い切って活用してほしい ●（上森委員）利用できる施設であること自体を知らない市民もいるため、周知して利用促進につなげることも必要ではないか。
事務局連絡	
内容	● 議事要旨は後日ホームページで公開予定であり、掲載前に事務局から内容確認を依頼すること、次回委員会の日程は決定次第通知することを説明。